



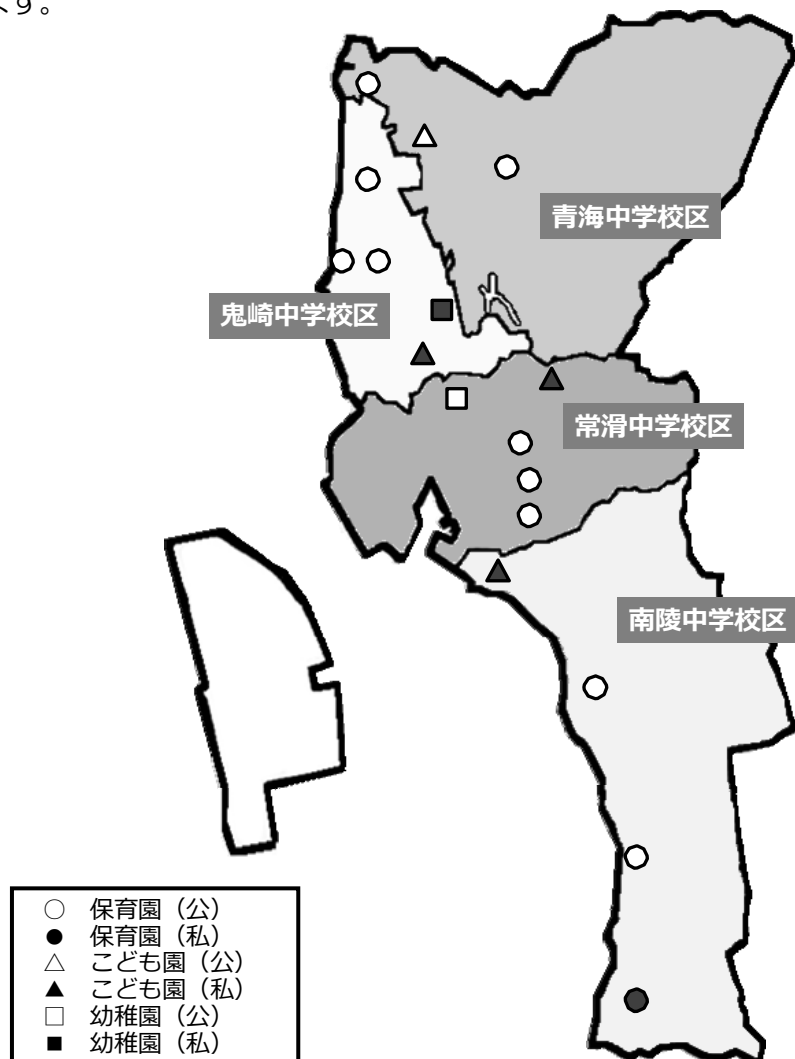
第4章 教育・保育の量の見込みと確保方策

1 幼児教育・保育提供区域の設定

国では、地理的条件、人口、交通事情などを総合的に勘案し、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することができる可能な区域（以下、「教育、保育提供区域」という。）を定め、幼児教育、保育提供区域内での需給計画を立てることとしています。

（1）幼児教育・保育の提供区域

本市の市域は南北に長く、地域ごとに人口や交通事情が異なっていることから、4中学校区を幼児教育・保育提供区域に設定し、幼児教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を提供します。



(2) 地域子ども・子育て支援事業の提供区域

地域子ども・子育て支援事業は、事業ごとに市内において、柔軟な需給調整を図るため、事業ごとに区域の設定を行います。

事業名		設定区域
1	時間外保育事業	4 中学校区
2	放課後児童健全育成事業（児童育成クラブ事業）	4 中学校区
3	子育て短期支援事業	市内全域
4	乳児家庭全戸訪問事業（赤ちゃん訪問事業）	市内全域
5	養育支援訪問事業	市内全域
6	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）	4 中学校区
7	保育園での一時保育	市内全域
8	幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）	4 中学校区
9	ファミリー・サポート・センター事業	市内全域
10	病児・病後児保育事業	市内全域
11	妊婦健診事業	市内全域
12	利用者支援事業	市内全域
13	実費徴収に係る補足給付を行う事業	市内全域

2 幼児教育・保育の量の見込みと確保方策

保護者が子どものための教育・保育給付を受けるには、その子どもの保育の必要性について、国の定める客観的な基準に基づいた市町村の認定を受ける必要があります。認定区分は次のとおりです。

認定区分と利用可能施設

	1号認定	(特例1号認定)	2号認定	3号認定
対象年齢	3～5歳児			0～2歳児
対象条件	2号認定のこども以外		保護者の就労又は疾病その他内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの	
利用可能施設	幼稚園、認定こども園（幼稚園部）	保育園	保育園、認定こども園（保育園部）、地域型保育事業	

(1) 1号認定(3～5歳児 幼稚園・認定こども園幼稚園部)

《現状・課題等》

現在、青海地区には青海こども園、鬼崎地区には大和幼稚園、こども園あるこ、常滑地区には常滑幼稚園、風の丘こども園、南陵地区には波の音こども園があります。

課題としては、「保護者の就労状況が変わった場合も、通いなれた園を継続して利用できること」が子ども・子育て支援新制度の特徴の一つであるため、保育園から幼保連携型認定こども園に移行することが望ましいと考えられます。また、常滑幼稚園については、耐震性はあるものの老朽化が進んでいます。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	31人	27人	43人	66人
鬼崎	94人	88人	81人	111人
常滑	240人	231人	284人	165人
南陵	24人	23人	29人	52人
全市	389人	369人	437人	394人

《確保の方向性と方策》

就労を希望する母親が増加しています。その一方で、教育を子どもに受けさせたいと考える保護者も一定数あり、平成25年度調査と比較して増加しています。

令和2年度から令和4年度に南陵地区で定員の不足が見込まれますが、常滑市全体では定員は確保されているため、市内全域で教育を希望する児童を受け入れていきます。

今後、入園実績に基づいて適正な定員の設定について検討していきます。

【青海地区】

現在の確保内容を維持します。

【鬼崎地区】

現在の確保内容を維持します。

【常滑地区】

現在の確保内容を維持します。また、引き続き老朽化の進む常滑幼稚園について、今後の在り方を含め検討していきます。

【南陵地区】

令和5年度からSAKA I 保育園を保育所型認定こども園へ移行し、保育園に在籍する特例1号認定児の受け皿を増やします。(1号認定+10人)

《量の見込みと確保方策》

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	1号認定	67人	66人	59人	56人	57人
	2号認定 注	8人	7人	7人	6人	6人
	量の見込み①	75人	73人	66人	62人	63人
	確保の内容②	80人	80人	80人	80人	80人
	②-①	5人	7人	14人	18人	17人
鬼崎	1号認定	114人	111人	100人	94人	96人
	2号認定 注	13人	12人	11人	10人	11人
	量の見込み①	127人	123人	111人	104人	107人
	確保の内容②	190人	190人	190人	190人	190人
	②-①	63人	67人	79人	86人	83人
常滑	1号認定	170人	166人	149人	139人	143人
	2号認定 注	19人	18人	17人	15人	16人
	量の見込み①	189人	184人	166人	154人	159人
	確保の内容②	225人	225人	225人	225人	225人
	②-①	36人	41人	59人	71人	66人
南陵	1号認定	53人	52人	47人	44人	45人
	2号認定 注	6人	6人	5人	5人	5人
	量の見込み①	59人	58人	52人	49人	50人
	確保の内容②	45人	45人	45人	※10+45人	55人
	②-①	△14人	△13人	△7人	6人	5人
全市	1号認定	404人	395人	355人	333人	341人
	2号認定 注	46人	43人	40人	36人	38人
	量の見込み①	450人	438人	395人	369人	379人
	確保の内容②	540人	540人	540人	550人	550人
	②-①	90人	102人	145人	181人	171人

注：保育を必要とする（2号認定児）が、幼稚園等での教育を希望する児童

※は量（入園児数）の見込みに対する、確保（定員増加）人数

(2) 2号認定(3~5歳児 保育園・認定こども園保育園部)

《現状・課題等》

本市では、保育の必要性の有無にかかわらず全ての子どもを受け入れており待機児童を出さず現在に至っています。人口が増加している常滑地区や鬼崎地区の一部の園で定員の余裕が少なくなってきたり、入所が難しくなっています。

令和2年度から保育の必要性のない私的契約児を特例1号認定児として受け入れします。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	174人 (35人)	207人 (25人)	186人 (35人)	185人 (38人)
鬼崎	441人 (87人)	396人 (81人)	381人 (70人)	383人 (56人)
常滑	531人 (86人)	507人 (66人)	528人 (58人)	498人 (59人)
南陵	204人 (43人)	246人 (39人)	243人 (42人)	229人 (35人)
全市	1,350人 (251人)	1,356人 (211人)	1,338人 (205人)	1,295人 (188人)

※ () 内は私的契約児

《確保の方向性と方策》

女性の就労率は増加していますが、定員は確保されています。待機児童が発生しないよう、定員の確保に努めるとともに、入園実績に基づいて適正な定員数を検討していきます。

子ども・子育て支援新制度では教育と保育を一体的に行う認定こども園を推進しており、本市としても認定こども園に移行していくことを検討します。

施設面では幼稚園・保育園とも老朽化が進んでいることから、大規模改修工事や民間活力を活用して更新していくことを目指します。

【青海地区】

現在の確保内容を維持します。

【鬼崎地区】

現在の確保内容を維持します。

【常滑地区】

現在の確保内容を維持します。

【南陵地区】

令和3年度までに老朽化の進むSAKA I 保育園の施設を更新します。

《量の見込みと確保方策》

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	特例1号認定児 注	61人	60人	56人	56人	57人
	2号認定	109人	106人	99人	99人	101人
	量の見込み①	170人	166人	155人	155人	158人
	確保の内容②	270人	270人	270人	270人	270人
	②-①	100人	104人	115人	115人	112人
鬼崎	特例1号認定児 注	90人	88人	82人	82人	84人
	2号認定	242人	236人	221人	221人	225人
	量の見込み①	332人	324人	303人	303人	309人
	確保の内容②	430人	430人	430人	430人	430人
	②-①	98人	106人	127人	127人	121人
常滑	特例1号認定児 注	95人	93人	86人	87人	88人
	2号認定	324人	318人	296人	296人	302人
	量の見込み①	419人	411人	382人	383人	390人
	確保の内容②	525人	525人	525人	525人	525人
	②-①	106人	114人	143人	142人	135人
南陵	特例1号認定児 注	56人	55人	51人	51人	52人
	2号認定	144人	140人	131人	131人	133人
	量の見込み①	200人	195人	182人	182人	185人
	確保の内容②	275人	275人	275人	275人	275人
	②-①	75人	80人	93人	93人	90人
全市	特例1号認定児 注	302人	296人	275人	276人	281人
	2号認定	819人	800人	747人	747人	761人
	量の見込み①	1,121人	1,096人	1,022人	1,023人	1,042人
	確保の内容②	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人
	②-①	379人	404人	478人	477人	458人

注：1号認定児同様に保育園に入所できる条件を満たさないが、近隣に幼稚園が無いなどの理由により保育園に通う児童

(3) 3号認定(0～2歳児 保育園・認定こども園保育園部・地域型保育事業所)

《現状・課題等》

0～2歳児の待機児童は平成31年4月1日現在ありませんが、特に人口が多い地区で希望の園に入りにくいという課題があります。また、利用児童数は1・2歳児で増加傾向となっています。

<0歳児>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	6人	12人	12人	12人
鬼崎	19人	22人	20人	16人
常滑	39人	39人	24人	33人
南陵	9人	11人	18人	8人
全市	73人	84人	74人	69人

<1・2歳児>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	38人	42人	57人	51人
鬼崎	84人	91人	84人	100人
常滑	155人	169人	118人	138人
南陵	41人	58人	95人	83人
全市	318人	360人	354人	372人

《確保の方向性と方策》

青海地区、常滑地区、南陵地区で定員の不足が見込まれますが、市内全域で受け入れていきます。しかしながら、女性の就労率は増加傾向にあり、特に育児休業が終了した1歳児での入園が難しくなっています。

今後、ニーズの増加が見込まれる0～2歳児の保育に対応していくため、保育者の確保を引き続き行っていくとともに、利便性の高い鬼崎地区で定員を確保するため、地域型保育事業所の誘致を検討します。

【青海地区】

現在の確保内容を維持します。

【鬼崎地区】

- 令和3年度から常滑大和キッズ保育園で0歳児の受け入れを始めます。
(0歳児+3人)
- 令和4年度に0～2歳児を保育する地域型保育事業所1園の誘致を検討します。
(0歳児+3人、1・2歳児+16人)

【常滑地区】

現在の確保内容を維持します。

【南陵地区】

現在の確保内容を維持します。

《量の見込みと確保方策》

<0歳児>

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	量の見込み①	13人	13人	13人	13人	13人
	教育・保育施設	12人	12人	12人	12人	12人
	特定地域型保育事業所	0人	0人	0人	0人	0人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	12人	12人	12人	12人	12人
	②-①	△1人	△1人	△1人	△1人	△1人
鬼崎	量の見込み①	17人	17人	17人	17人	17人
	教育・保育施設	21人	21人	21人	21人	21人
	特定地域型保育事業所	0人	※ 3 +0人	※ 3 +3人	6人	6人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	21人	24人	27人	27人	27人
	②-①	4人	7人	10人	10人	10人
常滑	量の見込み①	35人	35人	35人	36人	36人
	教育・保育施設	21人	21人	21人	21人	21人
	特定地域型保育事業所	8人	8人	8人	8人	8人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	29人	29人	29人	29人	29人
	②-①	△6人	△6人	△6人	△7人	△7人
南陵	量の見込み①	9人	9人	9人	9人	9人
	教育・保育施設	15人	15人	15人	15人	15人
	特定地域型保育事業所	0人	0人	0人	0人	0人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	15人	15人	15人	15人	15人
	②-①	6人	6人	6人	6人	6人
全市	量の見込み①	74人	74人	74人	75人	75人
	教育・保育施設	69人	69人	69人	69人	69人
	特定地域型保育事業所	8人	11人	14人	14人	14人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	77人	80人	83人	83人	83人
	②-①	3人	6人	9人	8人	8人

※ は量（入園児数）の見込みに対する、確保（定員増加）人数

< 1・2歳児 >

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	量の見込み①	55人	55人	55人	55人	55人
	教育・保育施設	55人	55人	55人	55人	55人
	特定地域型保育事業所	0人	0人	0人	0人	0人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	55人	55人	55人	55人	55人
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
鬼崎	量の見込み①	107人	107人	107人	108人	108人
	教育・保育施設	94人	94人	94人	94人	94人
	特定地域型保育事業所	31人	31人	※16+31人	47人	47人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	125人	125人	141人	141人	141人
	②-①	18人	18人	34人	33人	33人
常滑	量の見込み①	148人	148人	148人	149人	150人
	教育・保育施設	100人	100人	100人	100人	100人
	特定地域型保育事業所	40人	40人	40人	40人	40人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	140人	140人	140人	140人	140人
	②-①	△8人	△8人	△8人	△9人	△10人
南陵	量の見込み①	89人	89人	89人	90人	90人
	教育・保育施設	81人	81人	81人	81人	81人
	特定地域型保育事業所	0人	0人	0人	0人	0人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	81人	81人	81人	81人	81人
	②-①	△8人	△8人	△8人	△9人	△9人
全市	量の見込み①	399人	399人	399人	402人	403人
	教育・保育施設	330人	330人	330人	330人	330人
	特定地域型保育事業所	71人	71人	87人	87人	87人
	認可外保育施設等	0人	0人	0人	0人	0人
	確保の内容②	401人	401人	417人	417人	417人
	②-①	2人	2人	18人	15人	14人

※は量（入園児数）の見込みに対する、確保（定員増加）人数

《参考》市内各地区における教育・保育施設定員数（各年4月1日現在）

■ 幼稚園

		令和元年 (実績)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
青海	青海 こども園	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	大和 幼稚園	150人	150人	150人	150人	150人	150人
鬼崎	こども園 あるこ	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	常滑 幼稚園	180人	180人	180人	180人	180人	180人
常滑	風の丘 こども園	45人	45人	45人	45人	45人	45人
	波の音 こども園	45人	45人	45人	45人	45人	45人
南陵	SAKAI 保育園	—	—	—	—	10人	10人
	合計	540人	540人	540人	540人	550人	550人

■ 保育園

保育園 定員		令和元年 (実績)			2年度			3年度			4年度			5年度			6年度		
		0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳	0歳	1・2歳	3-5歳
青海	三和南	6人	22人	100人	6人	22人	100人	6人	22人	100人	6人	22人	100人	6人	22人	100人	6人	22人	100人
	三和西	6人	33人	95人	6人	33人	100人	6人	33人	100人	6人	33人	100人	6人	33人	100人	6人	33人	100人
	青海 こども園	0人	0人	70人	0人	0人	70人	0人	0人	70人	0人	0人	70人	0人	0人	70人	0人	0人	70人
	小計	12人	55人	265人	12人	55人	270人	12人	55人	270人	12人	55人	270人	12人	55人	270人	12人	55人	270人
鬼崎	鬼崎北	3人	22人	115人	3人	22人	115人	3人	22人	115人	3人	22人	115人	3人	22人	115人	3人	22人	115人
	鬼崎中	0人	0人	90人	0人	0人	90人	0人	0人	90人	0人	0人	90人	0人	0人	90人	0人	0人	90人
	鬼崎西	6人	33人	90人	6人	33人	90人	6人	33人	90人	6人	33人	90人	6人	33人	90人	6人	33人	90人
	こども園 あるこ	12人	39人	135人	12人	39人	135人	12人	39人	135人	12人	39人	135人	12人	39人	135人	12人	39人	135人
	地域型保育 事業所	0人	15人	0人	0人	31人	0人	0+3人	31人	0人	3+3人	31+16人	0人	6人	47人	0人	6人	47人	0人
	小計	21人	109人	430人	21人	125人	430人	24人	125人	430人	27人	141人	430人	27人	141人	430人	27人	141人	430人
常滑	瀬木	6人	33人	180人	6人	33人	180人	6人	33人	180人	6人	33人	180人	6人	33人	180人	6人	33人	180人
	風の丘 こども園	9人	39人	135人	9人	39人	135人	9人	39人	135人	9人	39人	135人	9人	39人	135人	9人	39人	135人
	常石	0人	0人	100人	0人	0人	100人	0人	0人	100人	0人	0人	100人	0人	0人	100人	0人	0人	100人
	丸山	6人	28人	110人	6人	28人	110人	6人	28人	110人	6人	28人	110人	6人	28人	110人	6人	28人	110人
	地域型保育 事業所	8人	40人	0人	8人	40人	0人	8人	40人	0人	8人	40人	0人	8人	40人	0人	8人	40人	0人
	小計	29人	140人	525人	29人	140人	525人	29人	140人	525人	29人	140人	525人	29人	140人	525人	29人	140人	525人
南陵	波の音 こども園	6人	30人	99人	6人	30人	99人	6人	30人	99人	6人	30人	99人	6人	30人	99人	6人	30人	99人
	西浦南	3人	22人	71人	3人	22人	71人	3人	22人	71人	3人	22人	71人	3人	22人	71人	3人	22人	71人
	小鈴谷	3人	17人	70人	3人	17人	70人	3人	17人	70人	3人	17人	70人	3人	17人	70人	3人	17人	70人
	SAKAI	0人	11人	32人	3人	12人	35人	3人	12人	35人	3人	12人	35人	3人	12人	35人	3人	12人	35人
	小計	12人	80人	272人	15人	81人	275人	15人	81人	275人	15人	81人	275人	15人	81人	275人	15人	81人	275人
合計	74人	384人	1,492人	77人	401人	1,500人	80人	401人	1,500人	83人	417人	1,500人	83人	417人	1,500人	83人	417人	1,500人	

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(1) 時間外保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育園等において保育を実施する事業です。

《現状・課題等》

時間外保育事業は、保育園、認定こども園、小規模保育事業所で実施しており、市内で14園となっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	18人(2園)	20人(2園)	13人(2園)	17人(2園)
鬼崎	36人(3園)	26人(3園)	31人(4園)	29人(4園)
常滑	37人(3園)	45人(4園)	60人(4園)	46人(6園)
南陵	9人(2園)	9人(2園)	13人(2園)	22人(2園)
全市	100人(10園)	100人(11園)	117人(12園)	114人(14園)

《確保の方向性と方策》

引き続き、19時までの長時間保育（最長で11時間30分）が、必要な方については今まで通り希望者数に合わせて受け入れ態勢を整えていきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	量の見込み①	16人	16人	16人	16人	16人
	確保の内容②	16人 (2園)	16人 (2園)	16人 (2園)	16人 (2園)	16人 (2園)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
鬼崎	量の見込み①	29人	28人	27人	27人	28人
	確保の内容②	29人 (4園)	28人 (4園)	27人 (4園)	27人 (4園)	28人 (4園)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
常滑	量の見込み①	44人	44人	43人	43人	44人
	確保の内容②	44人 (6園)	44人 (6園)	43人 (6園)	43人 (6園)	44人 (6園)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
南陵	量の見込み①	21人	21人	21人	20人	21人
	確保の内容②	21人 (2園)	21人 (2園)	21人 (2園)	20人 (2園)	21人 (2園)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
全市	量の見込み①	110人	109人	107人	106人	109人
	確保の内容②	110人 (14園)	109人 (14園)	107人 (14園)	106人 (14園)	109人 (14園)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人

※確保の内容は、時間外保育の希望者数に合わせて受け入れ態勢を整えるため、①=②としています。

(2) 放課後児童健全育成事業（児童育成クラブ事業）

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に小学校の余
裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を
図る事業です。

《現状・課題等》

児童福祉法第6条の3第2項に規定されている放課後児童健全育成事業に基づき、
仕事などの事情で、保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、児童の育成指導を児童
館等で実施しています。

女性の就労率は増加傾向にあり、児童育成クラブの利用を希望する児童も増加傾向
にあります。通年利用者だけの場合は各地区とも定員を下回っていますが、夏休みな
どの長期休業期間のみの利用者も含めると定員を超えるクラブも出てきています。習
い事や部活動等で毎日利用しない児童がいるため、利用者における実際の利用率は通
年利用者が約9割、長期休業期間は約7割となっており、定員を超えて受け入れる児
童育成クラブもあります。

しかし、利用者が増えている常滑地区や鬼崎地区では、定員を超える受け入れも難
しくなっているため、長期休業期間のみの利用者が校区外の児童育成クラブを利用
する場合があります。

また、児童育成クラブを実施する児童館の老朽化が進んでいます。

通年の利用者

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	37人(2クラス)	37人(2クラス)	52人(2クラス)	56人(2クラス)
鬼崎	117人(5クラス)	135人(5クラス)	142人(5クラス)	151人(5クラス)
常滑	132人(5クラス)	161人(6クラス)	177人(7クラス)	195人(7クラス)
南陵	52人(3クラス)	52人(3クラス)	55人(3クラス)	63人(3クラス)
全市	338人(15クラス)	385人(16クラス)	426人(17クラス)	465人(17クラス)

長期休業期間（夏休み）の利用者

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	29人	44人	42人	41人
鬼崎	82人	93人	104人	106人
常滑	77人	94人	126人	140人
南陵	43人	48人	49人	41人
全市	231人	279人	321人	328人

《確保の方向性と方策》

夏休みなどの長期休業期間中の利用者については、校区外の児童育成クラブを利用して、市内全域で受け入れをしていきますが、今後、利用を希望する児童の地域での受け皿確保のため、民間委託や長期休業期間の受け入れを含めたクラスの増設等を検討します。

また、老朽化が進んだ児童館で実施する児童育成クラブについては、小学校の大規模改修にあわせ、移転を検討します。

【青海地区】

三和児童館と大野児童センターの計2クラスで実施します。なお、大野児童センターは大野小学校の大規模改修にあわせ、大野小学校への移転を検討します。

【鬼崎地区】

西之口児童館（1クラス）と明和児童館（2クラス）、民間のリトルバード児童クラブ（1クラス）、にじの丘児童クラブ（1クラス）の計5クラスで実施します。また、令和5年度までに民間委託などにより1クラス増やし、計6クラスを開設いたします。

（令和5年度まで +1クラス40人）

【常滑地区】

常滑児童センター（4クラス）と常滑西小学校児童育成クラブ（3クラス）、民間のひこうきぐも児童クラブ（1クラス）の計8クラスで実施していきます。また、令和4年度までに民間委託などにより1クラス増やし計9クラスを開設いたします。

（令和4年度まで +1クラス40人）

【南陵地区】

西浦北小学校児童育成クラブと西浦南児童館、小鈴谷児童館の計3クラスで実施します。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	量の見込み① (通年利用)	53人	51人	53人	51人	49人
	小学1年生	24人	23人	24人	23人	22人
	小学2年生	18人	17人	18人	17人	16人
	小学3年生	7人	7人	7人	7人	7人
	小学4年生	2人	2人	2人	2人	2人
	小学5年生	1人	1人	1人	1人	1人
	小学6年生	1人	1人	1人	1人	1人
	量の見込み② (長期休業期間利用)	44人	43人	44人	43人	42人
	確保の内容③ (2クラス)	80人 (2クラス)	80人 (2クラス)	80人 (2クラス)	80人 (2クラス)	80人 (2クラス)
	③-① (通年利用)	27人	29人	27人	29人	31人
③-①-② (長期休業期間利用含む)	△17人	△14人	△17人	△14人	△11人	
鬼崎	量の見込み①	203人	200人	202人	196人	190人
	小学1年生	60人	59人	60人	58人	56人
	小学2年生	45人	44人	45人	43人	42人
	小学3年生	46人	45人	45人	44人	43人
	小学4年生	28人	28人	28人	27人	26人
	小学5年生	17人	17人	17人	17人	16人
	小学6年生	7人	7人	7人	7人	7人
	量の見込み② (長期休業期間利用)	108人	108人	108人	106人	104人
	確保の内容③ (5クラス)	200人 (5クラス)	200人 (5クラス)	200人 (5クラス)	40+200人 (1+5クラス)	240人 (6クラス)
	③-① (通年利用)	△3人	0人	△2人	44人	50人
③-①-② (長期休業期間利用含む)	△111人	△108人	△110人	△62人	△54人	
常滑	量の見込み①	222人	218人	221人	215人	209人
	小学1年生	91人	89人	90人	88人	85人
	小学2年生	64人	63人	64人	62人	60人
	小学3年生	42人	41人	42人	41人	40人
	小学4年生	18人	18人	18人	17人	17人
	小学5年生	5人	5人	5人	5人	5人
	小学6年生	2人	2人	2人	2人	2人
	量の見込み② (長期休業期間利用)	137人	136人	137人	134人	132人
	確保の内容③ (8クラス)	320人 (8クラス)	320人 (8クラス)	40+320人 (1+8クラス)	360人 (9クラス)	360人 (9クラス)
	③-① (通年利用)	98人	102人	139人	145人	151人
③-①-② (長期休業期間利用含む)	△39人	△34人	2人	11人	19人	

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
南陵	量の見込み①	61人	60人	60人	59人	57人
	小学1年生	21人	21人	21人	21人	20人
	小学2年生	15人	15人	15人	14人	14人
	小学3年生	16人	15人	15人	15人	15人
	小学4年生	5人	5人	5人	5人	4人
	小学5年生	2人	2人	2人	2人	2人
	小学6年生	2人	2人	2人	2人	2人
	量の見込み② (長期休業期間利用)	47人	46人	47人	46人	45人
	確保の内容③	120人 (3クラス)	120人 (3クラス)	120人 (3クラス)	120人 (3クラス)	120人 (3クラス)
	③-① (通年利用)	59人	60人	60人	61人	63人
③-①-② (長期休業期間利用含む)	12人	14人	13人	15人	18人	
全市	量の見込み①	539人	529人	536人	521人	505人
	小学1年生	196人	192人	195人	190人	183人
	小学2年生	142人	139人	142人	136人	132人
	小学3年生	111人	108人	109人	107人	105人
	小学4年生	53人	53人	53人	51人	49人
	小学5年生	25人	25人	25人	25人	24人
	小学6年生	12人	12人	12人	12人	12人
	量の見込み② (長期休業期間利用)	336人	333人	336人	329人	323人
	確保の内容③	720人 (18クラス)	720人 (18クラス)	40+720人 (1+18クラス)	40+760人 (1+19クラス)	800人 (20クラス)
	③-① (通年利用)	181人	191人	224人	279人	295人
	③-①-② (長期休業期間利用含む)	△155人	△142人	△112人	△50人	△28人

※□は量（利用者数）の見込みに対する、確保（定員増加）人数

(3) 子育て短期支援事業

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業））です。

《現状・課題等》

利用者数は年度によってばらつきがありますが、児童養護施設松籟荘、児童養護施設八波寮、母子生活支援施設半田同胞園の3か所で実施しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	28件(3か所)	0件(3か所)	18件(3か所)	8件(3か所)

《確保の方向性と方策》

引き続き、現状の体制を継続していきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	14件	14件	14件	14件	14件
	確保の内容②	14件 (3か所)	14件 (3か所)	14件 (3か所)	14件 (3か所)	14件 (3か所)
	②-①	0件	0件	0件	0件	0件
	確保方策	現在の確保内容を維持				

※確保の内容は、利用を希望する児童に対して全て実施していくため、①=②としています。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業（赤ちゃん訪問事業）

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

《現状・課題等》

助産師・保健師が生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、相談や情報提供等を行っています。赤ちゃんが生まれたら、母子健康手帳交付時にお渡ししている「赤ちゃん連絡票」をもとに助産師・保健師が連絡し、全ての家庭に随時家庭訪問を実施しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	514人	481人	501人	460人

《確保の方向性と方策》

引き続き、全ての家庭に訪問が実施できるように、関連機関と連携して赤ちゃんの養育状況の把握に努めます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	470人	473人	473人	473人	474人
	確保の内容②	470人	473人	473人	473人	474人
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策	現在の確保内容を維持				

※確保の内容は、全ての乳児を対象に訪問事業を行っていくため、①=②としています。

(5) 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

《現状・課題等》

養育支援が特に必要な家庭へ子育て総合支援センターの保育士が訪問し、愛着の絆を深める子育て支援を行っています。平成28年度から訪問員を1名から2名に増員し、体制強化を図っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	108件	136件	160件	132件

《確保の方向性と方策》

引き続き、養育支援訪問が必要だと判断した家庭全てに対して実施するとともに、関係機関との連携を密にして、支援が必要な方が利用できるように制度の周知を図っていきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	151件	151件	149件	150件	152件
	確保の内容②	151件	151件	149件	150件	152件
	②-①	0件	0件	0件	0件	0件
	確保方策	現在の確保内容を維持				

※確保の内容は、支援が必要な家庭に対しては全て実施していくため、①=②としています。

(6) 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

《現状・課題等》

平成30年度に鬼崎地区で1か所（こども園あるこ内）開設し、青海こども園、子育て総合支援センター、風の丘こども園、波の音こども園、小鈴谷保育園の計6か所で実施しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	136人／月(1か所)	174人／月(1か所)	182人／月(1か所)	181人／月(1か所)
鬼崎	1,364人／月(1か所)	1,364人／月(1か所)	1,296人／月(1か所)	1,582人／月(2か所)
常滑	119人／月(1か所)	121人／月(1か所)	116人／月(1か所)	113人／月(1か所)
南陵	520人／月(2か所)	624人／月(2か所)	547人／月(2か所)	416人／月(2か所)
全市	2,139人／月(5か所)	2,283人／月(5か所)	2,141人／月(5か所)	2,292人／月(6か所)

《確保の方向性と方策》

引き続き、とこなめ市民交流センター内の子育て総合支援センターを中心に6か所の子育て支援センターで子育て支援を実施していきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	量の見込み①	162人／月	154人／月	154人／月	151人／月	146人／月
	確保の内容②	162人／月 (1か所)	154人／月 (1か所)	154人／月 (1か所)	151人／月 (1か所)	146人／月 (1か所)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策	現在の確保内容を維持				
鬼崎	量の見込み①	1,602人／月	1,606人／月	1,652人／月	1,674人／月	1,698人／月
	確保の内容②	1,602人／月 (2か所)	1,606人／月 (2か所)	1,652人／月 (2か所)	1,674人／月 (2か所)	1,698人／月 (2か所)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策	現在の確保内容を維持				
常滑	量の見込み①	97人／月	103人／月	110人／月	111人／月	112人／月
	確保の内容②	97人／月 (1か所)	103人／月 (1か所)	110人／月 (1か所)	111人／月 (1か所)	112人／月 (1か所)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策	現在の確保内容を維持				
南陵	量の見込み①	411人／月	400人／月	384人／月	369人／月	355人／月
	確保の内容②	411人／月 (2か所)	400人／月 (2か所)	384人／月 (2か所)	369人／月 (2か所)	355人／月 (2か所)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策	現在の確保内容を維持				
全市	量の見込み①	2,272人／月	2,263人／月	2,300人／月	2,305人／月	2,311人／月
	確保の内容②	2,272人／月 (6か所)	2,263人／月 (6か所)	2,300人／月 (6か所)	2,305人／月 (6か所)	2,311人／月 (6か所)
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人

※確保の内容は、子育て支援センターは全ての利用者を受け入れて実施していくため、①=②としています。

(7) 保育園での一時保育

一時的に家庭での保育ができない児童を、一定期間、緊急・一時的に保護者に代わって、保育園や認定こども園の保育園部で保育をする事業です。

《現状・課題等》

市内8園で実施しており、利用者数は近年、減少傾向となっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	3,596人／年	4,111人／年	2,926人／月	2,378人／年

《確保の方向性と方策》

引き続き、8園で一時的に家庭での保育ができない児童を保育園等で保護者に代わって保育を実施していきます。

今後、利用者の利便性の向上を目指し、料金体系等の見直しを検討します。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
全市	量の見込み①	3,000人／年	3,000人／年	3,100人／年	3,100人／年	3,100人／年
	確保の内容②	9,600人／年	9,600人／年	9,600人／年	9,600人／年	9,600人／年
	②-①	6,600人／年	6,600人／年	6,500人／年	6,500人／年	6,500人／年
	確保方策	現在の確保内容を維持				

(8) 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

預かり保育は、通常の教育時間後や長期休業期間中などに行われる教育活動のことで、認定こども園の幼稚園部児童や幼稚園児童が利用する事業です。

《現状・課題等》

平成28年度から常滑幼稚園においても一時預かりを開始し、市内6園で実施しており、利用者数が増加傾向となっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青海	833人／年	720人／年	973人／年	1,629人／年
鬼崎	863人／年	974人／年	1,273人／年	1,572人／年
常滑	273人／年	424人／年	1,218人／年	1,563人／年
南陵	2,969人／年	1,494人／年	3,359人／年	2,265人／年
全市	4,938人／年	3,612人／年	6,823人／年	7,029人／年

《確保の方向性と方策》

引き続き、青海こども園、私立大和幼稚園、私立こども園あるこ、私立風の丘こども園、私立波の音こども園、常滑幼稚園で実施します。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青海	量の見込み①	1,851人／年	1,802人／年	1,629人／年	1,530人／年	1,555人／年
	確保の内容②	1,851人／年	1,802人／年	1,629人／年	1,530人／年	1,555人／年
	②－①	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年
	確保方策	現在の確保内容を維持				
鬼崎	量の見込み①	1,799人／年	1,742人／年	1,572人／年	1,473人／年	1,515人／年
	確保の内容②	1,799人／年	1,742人／年	1,572人／年	1,473人／年	1,515人／年
	②－①	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年
	確保方策	現在の確保内容を維持				
常滑	量の見込み①	1,790人／年	1,743人／年	1,572人／年	1,459人／年	1,506人／年
	確保の内容②	1,790人／年	1,743人／年	1,572人／年	1,459人／年	1,506人／年
	②－①	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年
	確保方策	現在の確保内容を維持				
南陵	量の見込み①	2,570人／年	2,526人／年	2,265人／年	2,134人／年	2,178人／年
	確保の内容②	2,570人／年	2,526人／年	2,265人／年	2,134人／年	2,178人／年
	②－①	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年
	確保方策	現在の確保内容を維持				
全市	量の見込み①	8,010人／年	7,813人／年	7,038人／年	6,596人／年	6,754人／年
	確保の内容②	8,010人／年	7,813人／年	7,038人／年	6,596人／年	6,754人／年
	②－①	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年	0人／年

※確保の内容は、利用を希望する児童に対して全て実施していくため、①＝②としています。

(9) ファミリー・サポート・センター事業

子育て支援の一環として、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の応援をしていただける人（援助会員）が会員となって、子育てを助け合う事業です。

《現状・課題等》

常滑市社会福祉協議会に事務を委託し、実施しています。平成30年度に全会員に対して、継続利用の意向を確認し、利用希望のない会員が退会したため、減少しています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	依頼会員	193人	197人	211人	52人
	援助会員	22人	24人	28人	19人
	両方会員	20人	21人	32人	18人
	利用件数	807件	560件	251件	325件

《確保の方向性と方策》

支援が必要な方が利用できるように、援助会員や両方会員の確保に努めるとともに、広報などを利用し積極的に制度の周知を図っていきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	322件	320件	318件	315件	313件
	確保の内容②	322件	320件	318件	315件	313件
	②-①	0件	0件	0件	0件	0件
	確保方策	現在の確保内容を維持				

※量の見込みと確保の内容は利用件数を表し、利用を希望する児童に対して全て実施していくため、①=②としています。

(10) 病児・病後児保育事業

病児・病後児について、病院・保育園等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業です。

《現状・課題等》

病気やけがのため家庭で保育できない6か月から小学3年生までの児童を、小児科医の管理の下に保育士、看護師がいる施設で預かり、保護者の子育てや就労の両立支援を図っています。本市では医療法人瀧田医院の「タキタキッズプラザ」に事業委託し実施しています。利用者数は横ばいで推移しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	1,344人／年	1,323人／年	1,222人／年	1,244人／年

《確保の方向性と方策》

引き続き、医療法人瀧田医院の「タキタキッズプラザ」に事業委託し実施していきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	1,201人／年	1,197人／年	1,175人／年	1,179人／年	1,190人／年
	確保の内容②	2,900人／年 (1か所)	2,900人／年 (1か所)	2,900人／年 (1か所)	2,900人／年 (1か所)	2,900人／年 (1か所)
	②-①	1,699人／年	1,703人／年	1,725人／年	1,721人／年	1,710人／年
	確保方策	現在の確保内容を維持				

※確保の内容は、定員10人×年間開所日数290日=2,900人／年としています。

(11) 妊婦健診事業

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、母子手帳の交付時に、「妊産婦・乳児健康診査受診票」を渡し、子宮頸がん検診1回、妊婦健診14回、産婦健診2回、乳児健診2回を公費負担で受診できるように補助しています。

《現状・課題等》

保健センターで全ての妊婦が健診を受けられるように、母子手帳の交付時に、「妊産婦・乳児健康診査受診票」を渡し、子宮頸がん検診1回、妊婦健診14回、産婦健診2回、乳児健診2回が公費負担で受診できるように補助しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	517人	503人	479人	459人

《確保の方向性と方策》

引き続き、全ての妊婦が健診を受けられるように、母子手帳交付時に「妊産婦・乳児健康診査受診票」を渡していきます。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	470人	473人	473人	473人	474人
	確保の内容②	470人	473人	473人	473人	474人
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人
	確保方策	現在の確保内容を維持				

※確保の内容は、全ての妊婦を対象に健診を実施していくため、①=②としています。

(12) 利用者支援事業

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

《現状・課題等》

平成28年度から子育て総合支援センターに専任の臨時保育士を配置し、また、保健センターに母子保健コーディネーター（保健師）を配置し、2か所で連携をとり、妊娠・出産・子育て期にわたる「切れ目ない支援」体制づくりを行っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全市	0か所	2か所	2か所	2か所

《確保の方向性と方策》

引き続き、子育て総合支援センター（基本型）と保健センター（母子保健型）で連携し、母子保健施策と子育て支援施策の両面から、妊娠期から子育て期の子育て支援について、切れ目のない支援を行います。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
	基本型	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	母子保健型	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	確保の内容②	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
	②-①	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所
	確保方策	現在の確保内容を維持				

(13) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、幼稚園（未移行）における給食費（副食費）に対する助成をする事業です。

《確保の方向性と方策》

給食費（副食費）に対する助成は、新制度に移行していない幼稚園の利用者を対象として、令和元年10月1日の幼児教育・保育の無償化を機に実施しています。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全市	量の見込み①	10人	10人	10人	10人	10人
	確保の内容②	10人	10人	10人	10人	10人
	②-①	0人	0人	0人	0人	0人

4 子育てのための施設利用給付の円滑な実施の確保

幼児教育の負担軽減を図る少子化対策や生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み、国の施策として幼児教育・保育の無償化を実施するため、子ども・子育て支援法が改正され、令和元年10月1日に施行されました。この改正により、従来から子ども・子育て支援新制度における「子どものための教育・保育給付」により給付対象とされていた幼稚園、保育所等の保育料が無償化されるほか、これまで法に位置づけされていなかった未移行の幼稚園や認可外保育施設、幼稚園預かり保育等を利用した際の利用料に対する給付制度が「子育てのための施設等利用給付」として創設されました。

そのため、この新たな給付については、特定子ども・子育て支援施設等の運用に支障がないよう必要な様式や給付方法等について定めます。また、特定子ども・子育て支援施設等の確認や公示、指導監督等の法に基づく事務の執行や権限の行使について認可外保育施設の監査状況等の情報提供を県に依頼する等、県と連携して実施します。